

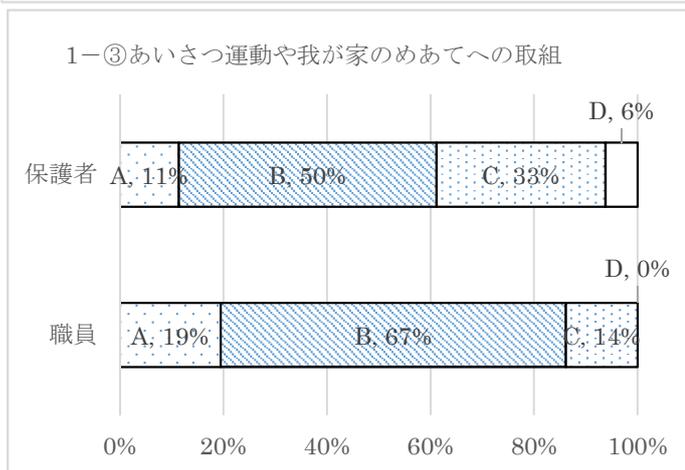
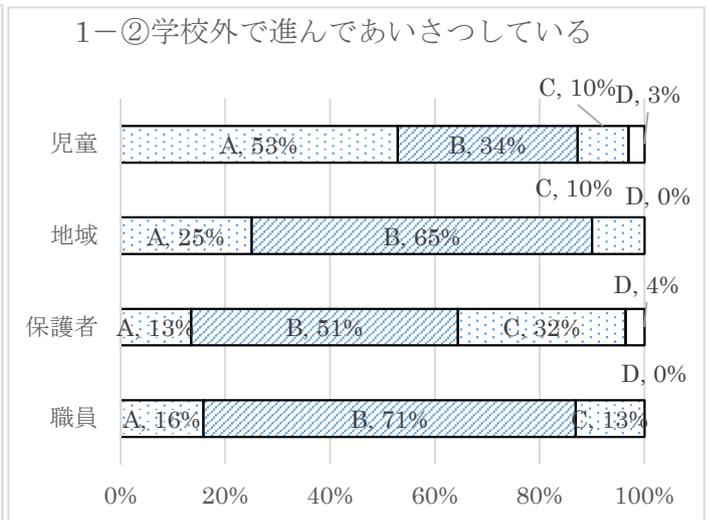
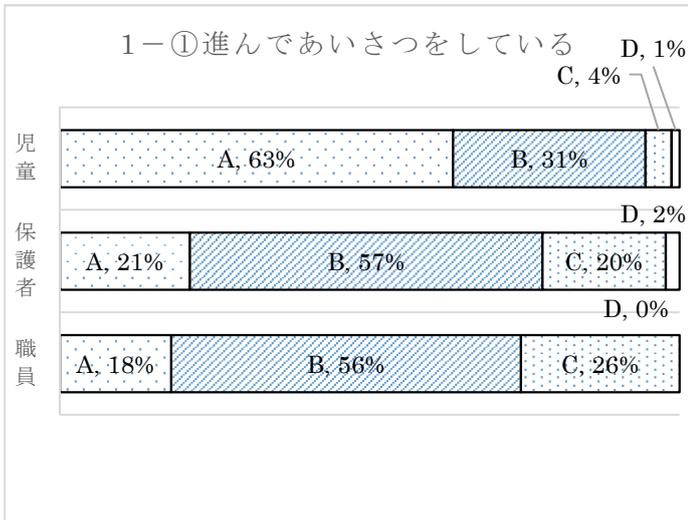
平成29年度学校評価 アンケート集計結果

平成30年1月15日

七北田小学校

1 協働型重点目標「もっと進んであいさつしよう！」について

【集計結果】



【自由記述から】

<保護者>

○「あいさつ運動」の実施は引き続きお願いします。高学年になっても、挨拶は大事なことだと思っています。朝なわ、朝マラも体力強化の上でも重要だと思いますので、年間を通しての実施をお願いします。

○あいさつについて、声かけは常々していますが、その都度声かけをしないと自ら進んではずありません。恥ずかしいと思っているようです。

○これからもあいさつを大切にしていってほしいです。

○あいさつ運動の取り組みはとても良いと思うので続けて行って欲しいと思います。

○通学路で、車に「お先に言っていよいよ」「渡っていいよ」と停車してもらった時、頭を下げたあいさつをし、渡り終わると振り返ってもう一度頭を下げた挨拶をすることを徹底して指導し、先生・児童ともに必ず実施していた小学校があり、とても温かい雰囲気になりました。各家庭でも行うべきだとは思いますが、七北田小学校でも行っていただけたらうれしいです。

○これからも挨拶を大切にしていってほしいです。

<地域>

○防犯ベストを着た方には、自発的に挨拶するように声かけしていきたいです。

○集会所で珠算教室や書道教室を行っています。集会所に来る子供たちは、今年は挨拶ができています。

○生徒一人(個人)でも挨拶できるようになれば良い。家庭内での挨拶が基本。親子間の挨拶から。

<教職員>

○特に高学年で、進んで挨拶をする児童が増えたように感じる。

▲挨拶については、個人差が大きい。こちらから挨拶をしないと挨拶ができない子もいる。

▲学校全体として、進んで挨拶をする習慣が不十分だと感じる。児童会の取組にだけ任せず、教職員も子供たちに何か仕掛けをするなど、具体的に動くべきだと思う。例えば、3年生で実施した「挨拶マスター」のようなことを、全校児童を対象に、全職員が評価・賞賛する方法で実施したらどうか。真の挨拶マスターには「校長賞」を贈るとか・・・。

△おはようデーの取り組みは、参加の仕方、挨拶の態度など学級によって差があるように感じます。おはようデーに参加することをきっかけにして、よりよい挨拶、相手に伝わる挨拶を各学級意識して声掛けできればと感じます。3年生の挨拶マスター？の取り組みは学年での取り組みで、良いなと思いました。

△おはようデーの取組については満足しているが、それが習慣化されていないのが残念だ。地域の人たちや先生たちに交わす普段の挨拶はまだまだだと思う。さわやかで気持ちのよい挨拶ができるようにしたい。

▲「あいさつ」については、校外での様子と比べて、校内で他の学年の児童や先生に自分から挨拶しようとする姿勢が足りないように感じる。おはようデーへの取り組みの習慣はできてきたが、自分から積極的に挨拶をする態度はまだ不十分であると思う。

【学校評価委員会（学校評議員・学校関係者評価委員）から】

○普段からの隣近所の付き合いが大切である。子ども会など新しい人とのふれ合いを増やしていくことが必要で、それなくして、学校外で進んで挨拶ができるようになるのは難しい。

○挨拶について、子供自身はできているという自己評価をしているが、保護者は、我が子の姿を見て評価しているので、評価に違いが見られる。先生や保護者、地域住民も自分ではできているのかという自己評価が必要ではないか。挨拶は、今年度の協同型学校評価の重点目標なので、学校、家庭、地域それぞれが自己評価している今回のアンケートの採り方は良い。七北田小は「七北田プラスワン運動」などの取組もあり、そういう問いかけをしても良いレベルにあると思う。

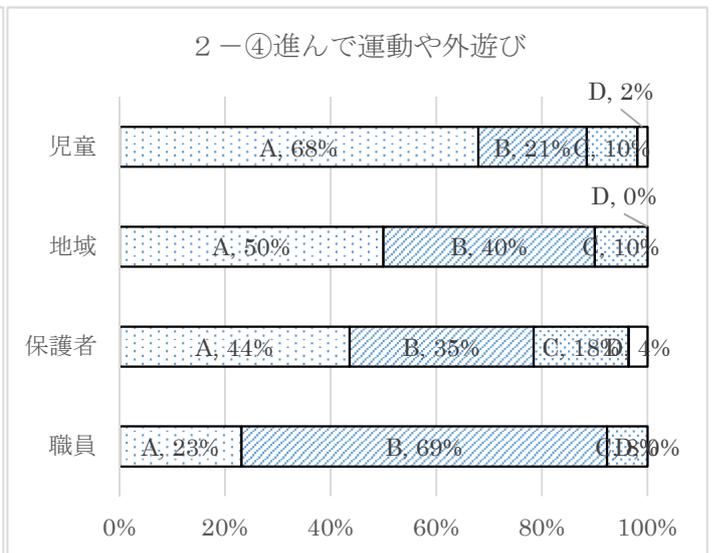
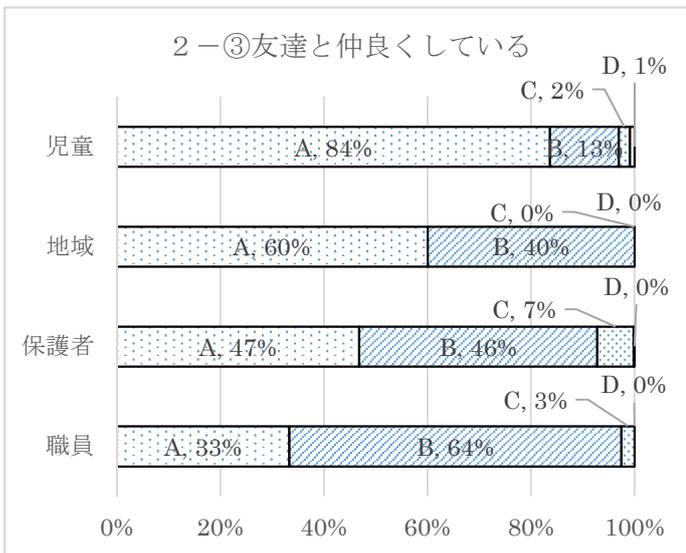
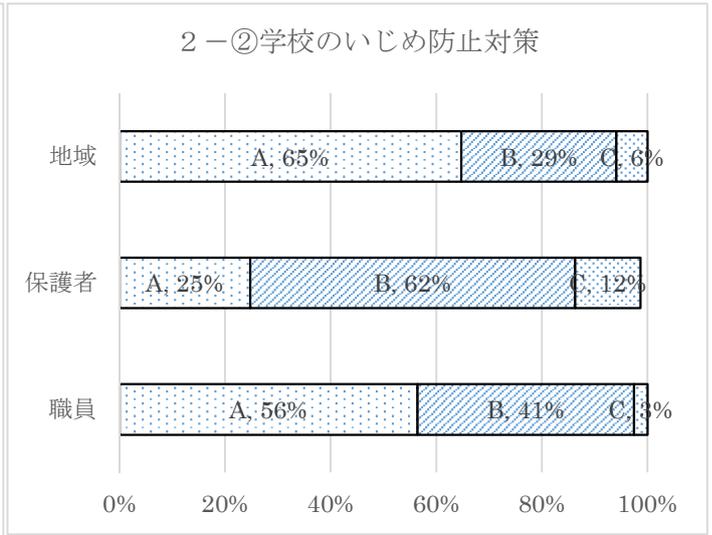
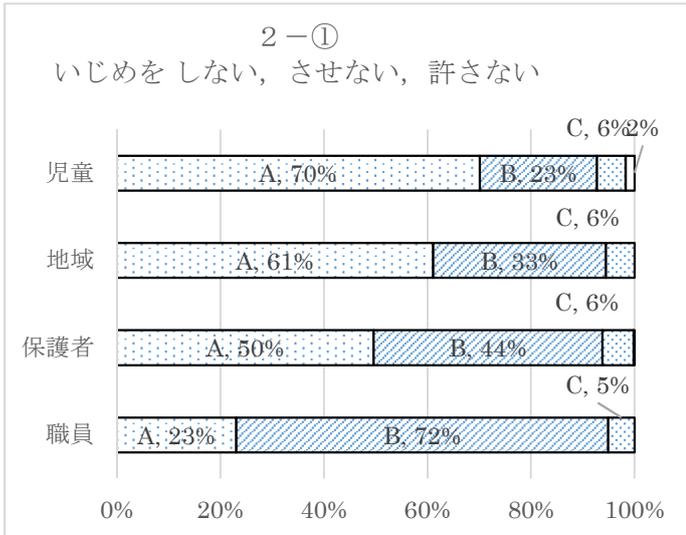
【学校から】

・協同型学校評価の重点目標である「もっと進んであいさつしよう」について、①の「進んであいさつ・・・」の設問では、AとBの評価を合わせて94%、②の「校外で進んであいさつ・・・」の設問では、87%と児童の自己評価結果はかなり高いものでした。しかし、その中でも校外の結果が若干下回る場所は正直に回答しているものと判断できます。その一方、保護者の評価では、概ね達成されているとの評価をいただいておりますが、校外での挨拶に対する評価は、AとBを合わせても64%にしかならず、厳しいものでした。むしろ教職員の評価を見ると、校外での挨拶が、AとBを合わせて87%であることから、校外学習などの機会も含めて、児童が学校で見せる姿と、家庭に帰って見せる姿の違いが現れているのではないかと考えられます。学校外での挨拶がきちんとできてこそ本来の「進んで挨拶」ができることに結びつくと考えます。1-③「我が家の目当てへの取組」についての設問では、保護者の自己評価として、AとBを合わせて61%であることは、厳しく自己評価されたのだと思いますが、それは、「我が家の目当て」への今後の取組次第で変化する可能性を秘めているということになります。

地域の方々からの評価では、校外での挨拶がAとBを合わせて90%で、高い評価をいただいています。これは、アンケートに回答して下さった地域の皆様は、日頃から子供たちとの関わりが深い皆様であることが大きなポイントで、児童は知っている大人には進んで挨拶ができるということだと思います。従って、より地域の方々との関わりが広く深くなることで、子供たちが進んで挨拶をする姿勢が身に付くと言えます。

2 重点目標「もっと仲良くあそぼう」について

【集計結果】



【自由記述から】

<保護者>

○やはり、いじめ問題は早急な課題だと思います。

○一人一人、違って良い。個性を認め合える心を育て、いじめのない学校にしてください。

○クラス等でおきている問題を子供から聞いてますが家庭でも声かけやフォローができるよう保護者会等でお知らせいただき情報を共有したいです。

<教職員>

△いじめ問題については、児童一人ひとり、保護者一人ひとりで受け止め方が違うので対応に苦慮する。もっとおおらかな目で子供たちの成長を見守るような雰囲気を作っていけたらいいと感じる。

▲「仲良く遊ぶ」に関して、いじめ調査や事後指導の徹底、いじめ撲滅の指導も大切だが、「やさしさ表彰」とか、明るい部分にスポットを当ててみたらどうか。

○集会委員会や体育委員が中心となって、遊びの集会を定期的に行っている点が良いと感じる。交流のきっかけにもなっている。朝マラソンや、朝縄跳びなどに取り組もうとする（興味を持つ）子どもが増えてほしい。

▲友達との関わりに関して、いじめをすることは悪いことであるという意識は子供たちの中に根付いているように思う。一方で、相手の立場に立たずに乱暴な言葉を使ったり行動をしたりしてしまい、相手がどう感じているのかを考えることがなかなかできずに、意識せずに相手を傷つけてしまう姿に改善の必要を感じている。

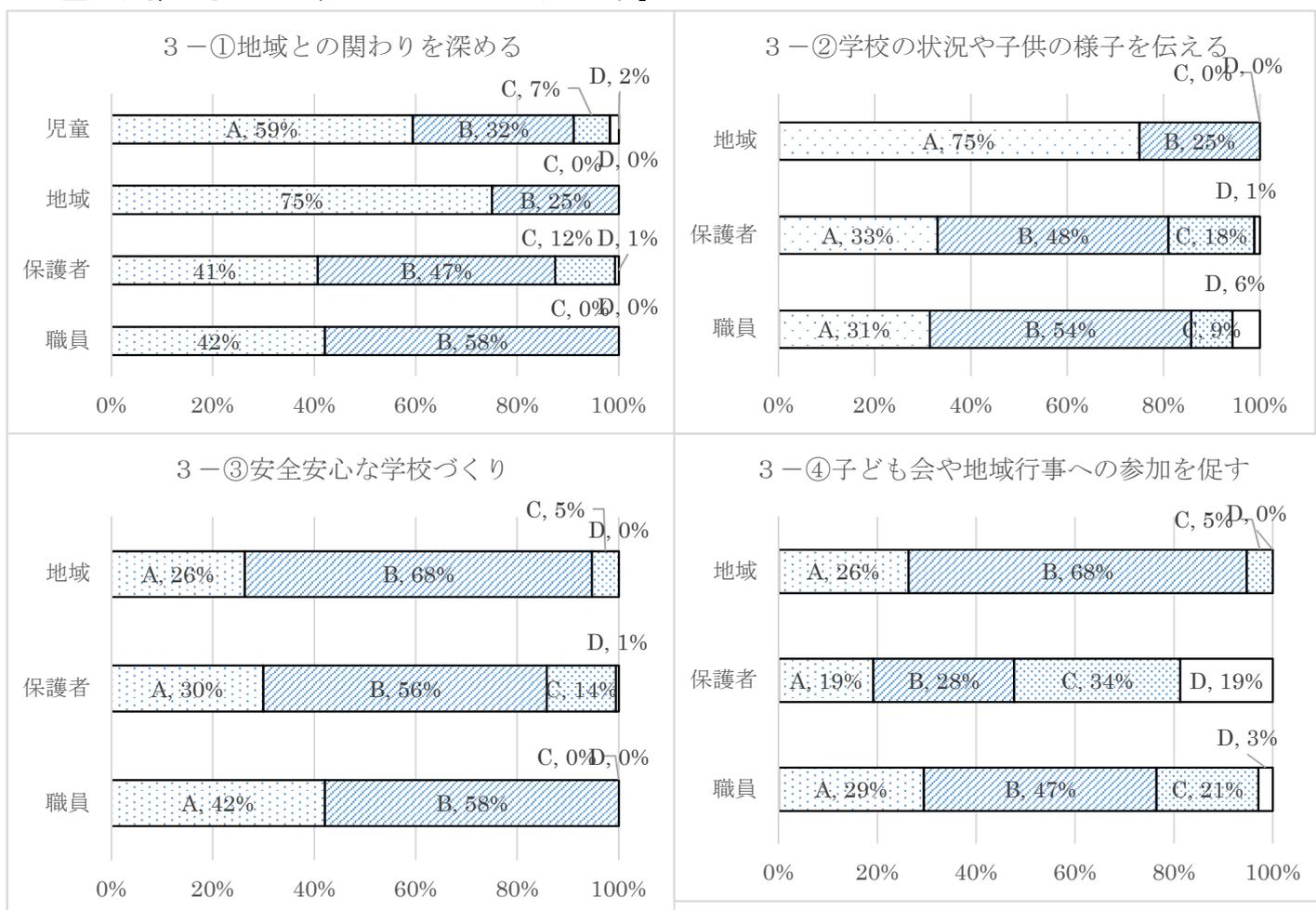
【学校評価委員会から】

○全員ではないが、口調の強い子、言葉遣いが悪い子がいる。上級生は下級生の手本になってほしい。自分では、冗談のつもりでも相手は違う受け取り方をしてしまうなど、子供同士のコミュニケーションで言葉の選び方が悪いと、互いに行き違いとなり、積み重なるとそれが「いじめ」につながっていくのではないかと。

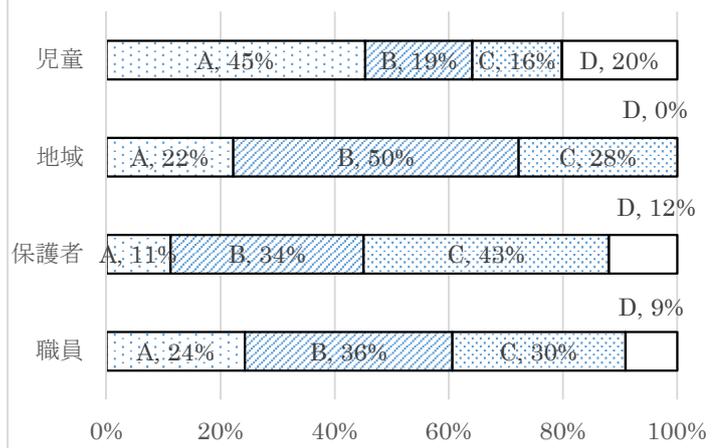
【学校から】

○今年度、仙台市教育委員会では、「いじめ未然防止」を最重要課題と位置づけ、全市で対応に取り組んできました。本校でも年4回のアンケートを実施し、その都度、全児童との面談や保護者への連絡、更には、命を大切に指導として、全校集会での校長の読み聞かせと学級での指導に取り組みました。これらの活動について、保護者からのA、B評価を合わせると87%となり、概ね御理解をいただいているものと判断いたしました。とかく「いじめ問題」への対応では、〇〇してはいけない・・・というネガティブリストになりやすいところですが、〇〇する・・・というポジティブリストで考えていくことは大切なことだと考えています。児童会としての取組や異学年交流を上手く活用しながら、児童の自己肯定感を高め、学校全体が仲良しであるという雰囲気醸成していきたいと思っております。

3 重点目標「もっと地域とのかかわりを深めよう」



3-⑤地域行事などへの参加



【自由記述から】

<保護者>

▲(13)の項目は、親の活動の評価となってしまうため、項目として適切ではないと思います。(教育活動の評価でしょうか?)

▲(13)の項目を学校の教育活動に関する項目に入れること自体、違和感をおぼえます。

▲土日は家庭で過ごしたいので、地域の行事等に参加することが少ない。

▲○「町たんけん」での事前のお店との連携が悪い。ボランティアに頼ることが多いが参加する保護者はいつも同じ。

○先週、3年生教室にボランティアで参加しましたが、地域のおじいちゃんやおばあちゃんがとてもよろこんでいる様子でした。とてもよかったですと思います。

○平日、両親とも仕事に出ており土日は通院や家庭の行事などの時間となるため、子供会などの活動は負担になると考え参加しておりませんでした。申し訳ありません。

▲ボランティアまで評価の対象にするのはおかしいと思う。

▲にこ本ボランティアや役員会等への参加依頼が多く、フルタイム勤務している者は大変な重荷になる。

▲本人の興味関心が強いものを優先させたときに子供会や地域の行事への参加が日程的に合わない。

▲子供会やにこ本ボランティアなど、都合でできないこともあるのですが、出られる行事は参加し、私達なりに学校や地域行事等に関わっているつもりです。ボランティアをしない=達成していないという観点は違和感を感じます。

○今後も地域や家庭と連携した活動を続けて欲しいと思います。

○(12)平日、週末共に時間が思うように確保できていないので、今後は少しでも時間を取る努力をして参加する機会を作っていきたいです。

○6年間楽しくのびのび学校生活を送れたのは、先生方のおかげだと思っています。ありがとうございました。

○学校は地域とのつながりやいじめ対策もよく行っていると思います。今後もこの活動に力をいれ続けていただきますよう宜しくお願いいたします。

○にこにこ本部の活動はあくまでもボランティア。しかしながら何回も募集のお便りが来たら強制的に参加しなければいけないような感じになってしまいます。もしできれば改善していただきたいと思います。

○最近、子供会を敬遠されているお母さんが多い。子供会は地域とともに街を明るくするので、学校でも積極的に進めて欲しいです。

▲(12)週末は習い事と家族で出かける用事が多いため参加する時間がとれません。すみません。

▲子供会をやめてしまったため行事に参加していない。

△1・3年生の年配の方との交流について、希望人数になかなか達せず、とても苦労されているのを見ました。来校していただいて交流をされるのが時間的にも理想だと思いますが、足腰が悪く、原則車での来校がNGなのは気の毒です。近隣に出向いて交流するなど方法を変えていかないと難しいのではないかと思います。

<地域>

- ▲子ども会への参加は、年々少なくなってきました。子ども会の役員になりたくない親の都合もあるのでは？
- 今後とも、地域とともに歩む小学校として、ますます活発に学校をもって行ってほしいと思います。

<教職員>

△地域の行事参加については、家庭の協力ができないと感じる。学校では、地域との関わり方を教えていきたい。

▲親同士の交流が少ないように感じる。子どものイベント参加などをきっかけにして、地域と関わろうとする親の姿が見たい。親も子も先生もまず、参加してみるという気持ちが必要ではないか。

【学校評価委員会から】

△地域行事などへの参加や交流の裾野を広げることに悩んでいる。町内会の行事でも、子供は参加したいが保護者の一歩が踏み出せないことが多いように思う。多数の参加があった行事について振り返ってみると、面倒なことはないということがわかると参加が増える傾向にある。どんな活動でも、一歩踏み込んでみれば、それほどでもない分かるはず。ぜひ、一歩を踏み出してもらいたい。

△内容を知らない人にとっては、踏み込むことへのハードルが高い。来てもらえるもの、行ってみたいと思ってもらえる活動を、複数の子ども会で協力してやってみては。

△活動している子ども会が減ってきたこともあるが、以前はもっと町内会と子ども会は密接に交流があった。様々な行事で、子ども会と青年会などが協力してきたが、今はそれぞれの子ども会に何名所属しているかも概数でしか分からなくなっている。学校の関わりがもっと必要なのかも知れない。

△地域の側でも、工夫しながらいろいろ取り組んでいる活動がたくさんある。そういうことを分かってもらうために、回覧などもっと発信していかないといけない。

▲子ども会育成会の役員が毎年交代することも影響があるのかも知れない。

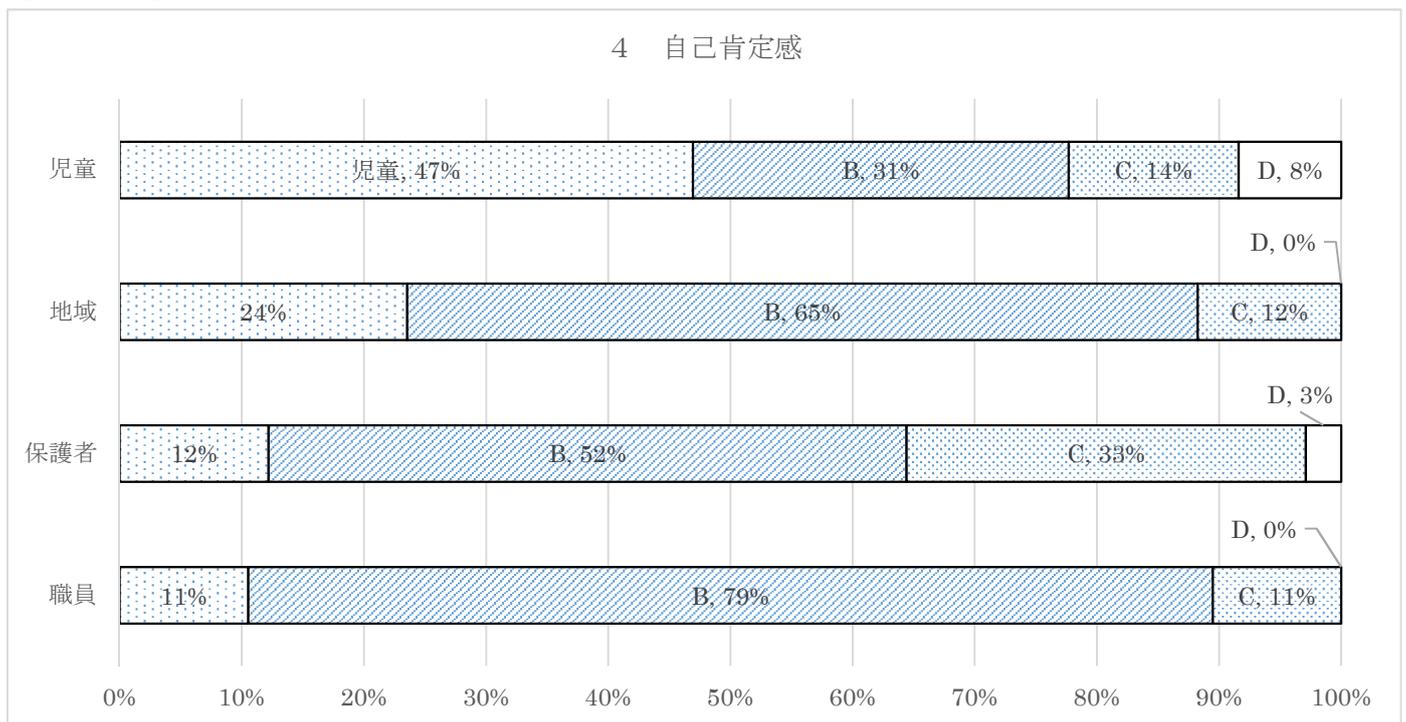
△忙しい大人が多い。親の介護や孫の面倒を見るのに忙しい世代、保護者も仕事が忙しい状況はよくわかるが、地域の一員として参加する楽しさを一度経験してほしい。経験すればその楽しさを分かってもらえるはず。

【学校から】

○学校支援地域本部（にこにこ本部）を通じたボランティアの方々が、年間でのべ2,600名以上が訪れてくれる七北田だからこそ実現している学びがたくさんあります。例えば、1年生と3年生は、街で出会った方に声を掛け、自分たちが開催するイベントのチラシを配付したり、アサガオの種をプレゼントしたりすることで、様々なコミュニケーションを経験しています。また、2年生の町探検、4年生の歴史探検、5年生の「七北田みんなの一番☆」など、地域の様々な人との出会いを通じた多様な学びの機会は、学校の中だけではなかなか得られるものではありません。6年生が、「すいせん通り」や「ふるさと祭」など、区役所を始めとした地域の諸団体と連携した活動も他に誇れるものです。どの学年も七北田だからこそできる、他に替えがたい多様な学びの機会を得ることで、すばらしい教育的効果を上げていると自負しています。

4 自分の良いところに気づいている

【集計結果】



【自由記述から】

<保護者>

○自己肯定感はとても大事だと思いますが、学校でどのような取り組みをされているのかわかりません。もっと力を入れていただけたらと思います。

【学校評価委員会から】

○子供を褒めることが大切。

○本気で褒めない子供には伝わらない。

【学校から】

○昨今話題の「いじめ問題」への対応など、自己肯定感を高めることが大切です。学校では、日常の学校生活の中で、児童の良い点を見つけ、褒めることで、自分の長所に自分で気づけるように働き掛けています。

また、日々の帰りの会などで、お互いの長所を認め合う機会を設定することで共に成長していけるような取組も行っています。

さらに、児童会のマスコットキャラ「ななぶっしー」を使った取組で、思いやりのある行動を奨励しています。

※なかよっしー城を守れ！など、児童のアイディアで動く児童会の取組は、先生に言われたから取り組んでいるという言い訳のできない活動です。それ故、児童の達成感をはぐくみ自己肯定感を高めることに結びつくと考えています。

【その他の自由記述】

項目	自由記述	学校から
『学習指導』 ＜保護者＞	<p>○純粋な子が多く良いと思います。ただ、①勉強面がのんびりしていて、もっと競争心がないと困る。学習面にもっと力を入れて欲しい。</p> <p>○4年生の途中から始まった連絡帳でのその日の出来事、頑張っていることなどを保護者向けに子どもが書くことはとても良いと思います。(湧口先生からスタート)その日の様子やポイントを子どもが意識でき、課題や問題、頑張ったことを子ども達に落とし込むことができるので、今後も是非続けて欲しいと思います</p> <p>②宿題は親が丸付けすればいいと思う。先生が間違っている回答に丸付けをしていることが何回もある。丸付けした宿題を提出すれば先生は確認だけで済むと思います。宿題が少ない。土日にプリントがないのはなんで？宮城県は学力が低いと聞いてたけど実感してます。</p> <p>○宿題がもう少し多くてもいいかと思います。</p> <p>○地域交流も大切ですが、学習面にもっと力を入れてほしい。③作文は特にもっと指導に力を入れて欲しい。ただ「書きなさい」というだけでは力は付きません。書くコツがあります。作文はとても重要です。</p> <p>○不得意科目の補習。</p> <p>○4年生まで毎日音読をしてカードに記入しているので学年単位でよいので音読コンクールを開いてみてはいかがでしょうか。</p> <p>○「地域などの関わり」は大事だと思いますが、もう少し本来の学習習慣の指導に力を入れていただきたいと思います。テストや宿題なども含めて各々のレベルに合わせた指導を期待します。</p> <p>③読書+作文に力を入れて欲しいです。</p> <p>④学習面で応用力が身につけていないようなので力を入れて欲しい。</p> <p>○日々の生活に時間の余裕がなく、学校で行っていただいていることをきちんと把握できておらず恐縮です。毎日、楽しく通わせていただいております。1点思いつくこととすれば、親以外の他人に自分の意見を伝えようとすることが苦手なので、④授業では受け身もしくは答えを発表するのではなく、プレゼンのような機会がたくさんあるとありがたいと思います。</p> <p>○勉強の補習。</p>	<p>①全国学力学習状況調査の結果については、都道府県とは別に政令指定都市でみると、仙台市は全教科とも平均を上回り、上位に位置します。七北田小学校は、その仙台市平均の約10ポイント程度上に位置しますので、本校の児童は、日頃、よく頑張っていると分析しています。なお一層の学力向上を目指してまいります。</p> <p>②宿題は、各学年の発達段階に合わせて、担任が成果を確認できる分量を考えながら出しています。家庭での御協力が得られることで、さらに効果が上がると考えます。</p> <p>③七北田小学校では、平成27年度から3年間、「書く活動」をテーマとして授業研究をすすめて来ました。児童の作文力を高める取組として一定の効果を認めることができました。今後とも、日々の積み重ねを大切にしていきます。また、図書ボランティアの皆さんの支援を受けながら、図書室の利用向上に努めています。小学生の内に読書の習慣を身に付けさせたいと考えています。</p> <p>④平成30年度から新学習指導要領への移行期(2年間)が始まります。そこでは、習得した知識を活用する力の育成が求められています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科学習における知識習得 ・総合的な学習等を通じた情報の選択、処理、発信 <p>これらをバランス良く取り組む中で、より一層の深い学びの実現に力</p>

項目	自由記述	学校から
『安全』 ＜保護者＞	<p>⑤朝の登校時など、車の通りが激しい場所などが多いと思いますが、不審者など多いことから地域場所で子ども達の通学班を作ったかどうかと思います。新1年生などご近所にお友達がいない子などは親は心配だと思います。通学班があればお友達の輪や交通ルールご近所の輪ができるのではないかと思います。</p> <p>物騒な世の中になり、特に先生や親の目の届かない登下校が心配でなりません登下校（特に下校）に一人にならないよう、同じ時間にスムーズに帰れるように近所のお友達と同じクラスだと少し安心かと思います。</p> <p>○まずは子ども達の⑥安全な学校づくり、静かな授業、この2つを安定して提供してもらいたいです。</p> <p>○毎年コメントしているのは子ども達の登下校の様子がいい印象ではなく、道いっばいに広がったり石をけりながら歩く、後ろを向いたままでぶつかってしまう等、安全・迷惑行為への心配があるので、指導を強化して欲しいです。</p> <p>○結局の所、3年生あたりから⑦通学路がはっきりしなかった。マンション建設等の通学路変更などのお知らせは多々あったが、建設完成後、通学路が元に戻る等の連絡はない。交通量が多い地域なので、低学年のことも考えてもしっかり学校側が判断するべきだと思う。保険等のコトもあるので・・・。泉中央のローソンとなりのマンション建設の時から吐しゃ物のある飲食店が多い通りが通学路になったままです。マンションは数年前に完成しておりますが、交通指導をしても皆その道に進んでいきます。</p> <p>○登下校の際に、危ないなと感じる場面が多々見られることがあります。⑦安全面でもう少し気をつけてお話していただけたらと思います。</p> <p>○天神沢方面からの登校で北側（セブミンストップ）からの登校の見回りを増やして欲しい。⑧今後、北側からの児童が増えるため。</p>	<p>を尽くしてまいります。</p> <p>⑤PTAを始め、地域の防犯巡視員の方々など、登下校の見守りへの御協力に感謝申し上げます。</p> <p>通学班をとの御提案ですが、まず、子ども会やマンション単位など保護者の輪で通学班についてご検討いただければと思います。</p> <p>⑥⑦交通安全指導については、歩行と自転車共に行っておりますが、なかなか徹底されません。子供は、その場で指導しないとなかなか身に付きません。家庭と地域の御協力に期待するところが大です。</p> <p>安全安心のある学びの環境づくりに努力してまいります。</p> <p>⑦東西に細長い学区の形状から、歩道のある大きな道路が指定通学路としています。工事などのため一時的な変更が出た場合の指導なども、なお一層徹底していきますので、御家庭での声掛けもよろしく願いたします。</p> <p>⑧天神沢、本田町方面での宅地開発があるとの情報もありますので、今後、通学路について再確認する必要もあると考えております。</p>

項目	自由記述	学校から
「学校行事」	<p>○たくさん行事がある中で、その一つ一つの完成度の高さは先生方のご指導のおかげだと感謝しております。）</p> <p>○共働きの家庭としては学校に呼ばれるたびに時間のやりくりが大変です。親が参加することはとても大事なことです。⑨<u>少し回数を減らしていただけたら</u>と考えます。</p> <p>○各学年ともに⑨<u>行事が多いように</u>感じます。もう少し減らして一つ一つにかかる時間を増やし、行事の数よりも内容を充実させる方がいいんじゃないかと思ひます。</p> <p>○⑨<u>行事が少し多い</u>気がします。⑨<u>勉強以外の活動</u>ももちろん必要かと思ひますが。⑩<u>授業時間が足りているの</u>かなあ・・・と少々心配して思ひます。</p> <p>○行事が多すぎる。もっとゆったりした時間の中で学習に取り組んで欲しい。先生方も忙しく大変そうに見える。</p> <p>○共働きの家庭としては、学校に呼ばれるたびに時間のやりくりが大変です。親が参加することはとても大事なことです。⑨<u>少し回数を減らしていただけたら</u>と考えます。(奥山)</p>	<p>⑨学校行事として実施している活動は、入学式や卒業式などの儀式や運動会、学習発表会、防災訓練など年間で6日ほどです。修学旅行や野外活動がある高学年はもう少し多く、10日ほどです。</p> <p>⑨行事が多いと感じる保護者の皆様は、総合的な学習の時間の取組等、学習活動へのボランティア要請機会が、各学年で年間2～3日程度あり、皆様の多大なる御支援に感謝申し上げます。</p> <p>⑩今後、英語科の導入など授業時数の確保が課題となりますので、教育活動の内容を精選し、限られた時間の中で最大限に効果が発揮できるような取組をしてまいります。</p>
	<p>○<u>教職員の方とのコミュニケーション</u>がとりにくい。学校内でのトラブルがあっても連絡帳や電話での連絡がなく、子どもからも話がないのでまったく分からない。他のお母様から話があつて初めて知るといふのが現状です。</p> <p>○校内美化に力を入れて欲しい。</p>	<p>⑪保護者や地域の方々とのコミュニケーションは、大切にしていかなければならないと感じております。御指摘のように感じる方も居られますので、なお一層、努力してまいります。</p> <p>○窓清掃などのPTAボランティアに感謝申し上げます。七北田小の児童は、大変真面目に清掃等の作業に取り組んでいると感じて思ひますが、より一層の指導を行うと共に、学校を汚さずきれいに使う指導も大切にしていきたいと思ひます。</p>

<p>その他</p>	<p>○よく子どもを一人一人みてくださっていて大変満足しています。これからもよろしくお願ひします。(伊藤)</p> <p>○個性を大切に育てていただき、のびのびと育つことができています。いつも感謝しています。ありがとうございます。</p> <p>○毎年、我が子への対応を考えていただきありがとうございます。感謝しています。</p> <p>○本年度はクラスの雰囲気・学習についても充実した毎日をごささせていただいております、安心いたしました。羽生選手の母校と言うことで子ども達もスケートに興味があり楽しかったようなのでもう少し回数を増やして体験させていただきたい。</p> <p>○児童館に入れなかった児童を⑩小学校で夕方くらいまで遊ばせて欲しい。(例えば自由来館では昼食が児童館では食べられないため、そんな子のための⑪昼食場所を提供してほしいです。) また、早帰りの日に親が帰宅するまでの間の昼食場所(弁当持参時、3校時帰宅等)まだ分かりませんが、来年児童館への入館が私の勤務時間だと入れないかもと言われたため。</p> <p>▲⑫5年生では4月よりクラス対抗クラスマッチ、11月よりマラソン記録を行っていますが、いまいち意図が分かりません。得意不得意がある他、最近では重荷になって学校を休みたい子も増えています。子ども達のSOSにもっと気付いてあげて欲しいです。回数を減らすとか楽しんでやれることが一番だと思います。</p> <p>△子どもが自主的に行動できる環境づくり、学習しやすい環境づくりを目指して欲しいと思います。伝統のある学校ですので、これからも良き七北田小の伝統を引き継ぐ教育であって欲しいと思います。</p> <p>○⑬学校のHP更新をこま目にして欲しい。特にブログはまとめて一気に更新ではなくて。(他の小学校や市名坂や桂などは毎日更新されている学校もあります。⑬学校からのお便りや学校便りもHPにしてもらえると助かります。</p> <p>△遊ぶ場所が不足していることで人間力や運動能力が低下しているように感じる。習い事で運動をわざわざさせるよりも⑭小学校でも部活動があってもいいような気がする。ストレス発散やコミュニケーション向上のために。でもやはり運営が難しいのかな。</p> <p>△一人一人、違って良い。個性を認め合える心を育て、いじめのない学校にしてください。</p>	<p>⑩本校では、平成27年度から放課後の校庭開放を実施しております。学校だよりの日程表に開放の可否が記載されていますので、御確認の上、お子さんに声掛けしてください。</p> <p>⑪原則としては昼食場所の提供は行いません。個別の事情ある場合は御相談ください。</p> <p>⑫5年生のクラスマッチは、共通の目的に向かって協力するという体験を通じて学級の連帯感を高め、達成感を得る中で身心共にたくまishさを育むことを目的として取り組んできました。一定の成果を得られたものと評価しております。しかし、一部の児童に活動の目的が十分理解されていないことは反省材料として、より良い学年経営となるようなお一層努力してまいります。</p> <p>⑬学校だより、にこ本通信など、HP上で公開しております。また、ブログの更新については、今後も努力してまいります。</p> <p>⑭小学校には、部活動の位置づけはありません。稀に吹奏楽団や合唱団など特別クラブのある学校もありますが、現状で新規に立ち上げることは難しいと御理解ください。</p>
------------	---	---

<p>△⑮給食時、グループで向き合って食べないことが不思議。食を通して会話 をすることで食育にもつながる上、コミュニケーションを取ることがいじめ防止にもつながるのではないのでしょうか。せつかくの給食を、ただ前を見て食べるのはもったいないと思います。</p> <p>△⑯クラス替えが毎年あるのは子ども達や先生方にも負担になるのではないかと不安です。(転入してきて知りました。) 4時限の日はお弁当がなくても良い気がします。○転入の際は大変良い対応をしていただき安心できました。</p> <p>▲⑰学年の教師間の連携がよく取れている学年とそうではない学年との差が大きいように感じました。</p> <p>▲⑱進級し30人学級→40人学級になり、先生からの指導が行き届いているのか心配。授業中に立ち歩きし廊下に出たりする子供がいても注意することもなかった。</p> <p>▲⑲学級だよりを出しているクラスと出していないクラスがある。親として子どもの身近な集団の様子をよく知りたいと思う。(現クラスは出している。)</p> <p>▲去年まで学級だよりが全くなく、子供たちの様子が分かりずらかったのですが、今年は毎週学級だよりが届き、時間割や準備品、クラスの様子がよくわかり、本当にありがたいです。先生方もお忙しいと思いますが、学級だよりの発行を学校全体として取り組んでいただけたらと思います。</p> <p>△担任の先生の仕事量が多すぎて、じっくり子どもの教育に関わる時間も心の余裕もないほどに厳しいのではないかと思います。社会から学校に求められるものは増しているのに、教員の数も変わらないし、社会的なバックアップが学校に対して少ないと感じます。⑳少しでも学校や子どもの役に立てたらと日々思っています。先生方のご尽力にいつも感謝しています。</p>	<p>⑮以前は、本校でも給食の際に座席をグループにして食べていましたが、数年前から食物アレルギー児童への対応や感染症の対応が必要になりました。その際、特定の学級のみへの対応とすることはできず、全校での対応となり現在に至っています。今後の状況によって、検討してまいります。</p> <p>⑯以前は、2年に一度のクラス替えが一般的でしたが、学年・学級経営上、様々な観点から現在のようになりました。新しい出会いを大切にしながら指導してまいります。</p> <p>⑰⑱なお一層、学年間、職員間の共通行動を大切にしながら取り組んでまいります。</p> <p>⑲最近の新聞報道等で、教員の多忙化が問題とされています。学級だよりは、皆家庭に持ち帰って作成している現状があることを御理解ください。お子さんのことで御心配がある場合、いつでも御相談ください。</p> <p>⑳大変ありがたい御意見です。保護者の皆様の御支援に心より感謝申し上げます。日々、学級担任はもちろん、全教職員が日々の業務に対して工夫と改善に取り組みながら、児童との時間を生み出すよう努力しております。</p>
---	---

【学校評価委員会から】

△「七北田プラスワン運動」を学級懇談会などで、もっと話題にして良い。そうすることで、もっと行かせると思う。現状ではちょっともったいない。もう次のステップに進んでも良いと思う。

△協同型学校評価について理解していない人たちをどうやって引き上げていくのかも考えていく必要がある。自己評価については、知・徳・体についても評価してもらうのが良い。「七北田プラスワン運動」は、協働型学校評価の重点目標への取組を達成するための方法論として有功に活用してほしい。

△互いに連携して取り組むことは、学校だけでなく家庭や地域にとっても良いことなのだというこの理解を進めるためのPRが大切である。

△学力を試験学力としか捉えられない人がいるが、そうじゃないんだということを七北田はずっと実践している。人との関わりを通じて身に付ける力が大切。町内会など、地域を支える団体の若返りも必要である。